

## 推薦文

### 「称名寺大蔵経」の刊行によせて

西岡芳文

歴史の転変のなかで半減したとは言え、称名寺一切経が今日までまともな形で保存されてきたのは、文政の初め、江戸の豪商・石橋弥兵衛の寄進によって一括修理が行なわれ、新造の経箱に整然と収納された功績が大きい。昭和になって県立金沢文庫が再興されてからは、展示室のケースの下にガラス棚をしつらえ、密かに保存されてきたのである。

平成になって金沢文庫新館がオープンすると、金沢文庫文書が最初に重要文化財に指定され、次は宋板一切経ということになった。私の記憶では、平成四年あたりから本格的な目録作成が開始された。最初は学芸員実習の一環として、夏休みに実習生に連日カード採りをしてもらい、それをもとに椎名先生をは

じめ、その道の専門家に委嘱して詳しい調査が行なわれた。一切経の料紙（版面）一枚ごとの刻工名を詳細に記録するような調査は、当時としては先進的であり、平成九年に一括して重要文化財に指定された。

南宋最末期に、北条実時の懇望を受けた律僧たちの命懸けの渡航によって将来された称名寺の一切経は、確かな来歴が知られる激動の時代の生き証人であり、世界的に見ても重要な文化遺産と言えよう。このたび、新出の残卷を加え、より精密な再調査を経た新目録が公開され、学界の共有財産になることは、たいへん有意義な成果であり、広く活用されることを願う次第である。

（上智大学特任教授・前神奈川県立金沢文庫学芸課長）

2023年  
7月刊行

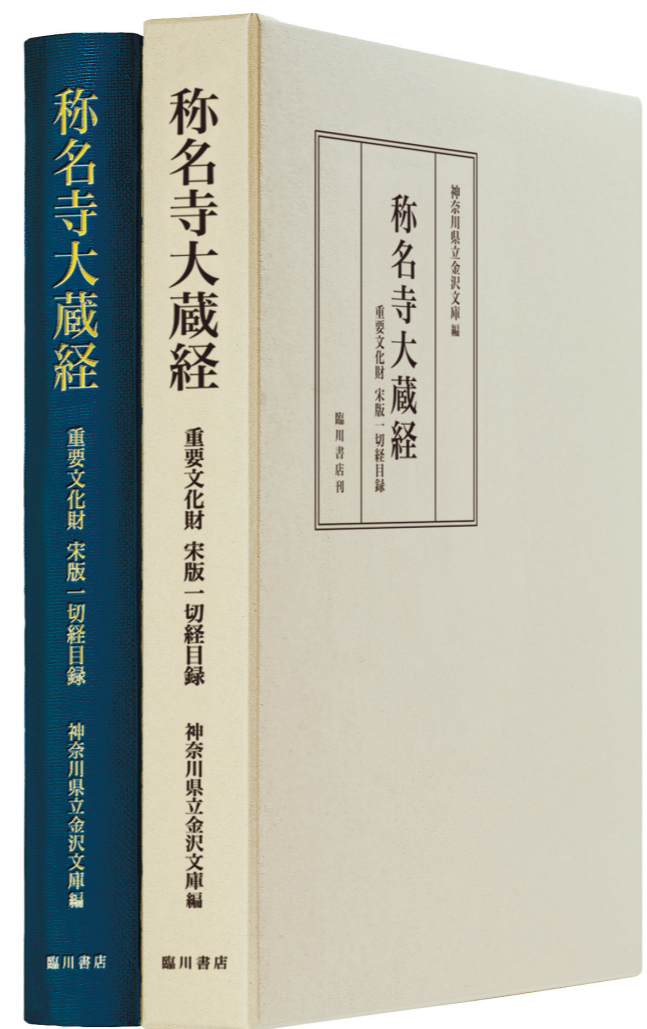
神奈川県立金沢文庫編

# 称名寺大蔵経

重要文化財 宋版一切経目録

■税込64,900円  
(59,000円+税)

■A4判・クロス装函入・本文64頁・口絵8頁  
■ISBN978-4-653-04510-6



平成10年に作成された「神奈川県立金沢文庫保管 宋版一切経目録」——長らく存在を知られながら入手が困難であったその「幻の目録」を、このたび県立金沢文庫が改めて実施した「重要文化財 宋版一切経」悉皆調査の成果も盛り込み、新訂版として刊行する。目録篇は、新たに発見された断簡類の情報を追加しただけでなく、初学者から専門家まで、多くの読者の利便にかなうよう諸典籍ごとの基礎データや総画索引を掲載する。また、論文篇では最新の研究動向と再調査の結果をふまえた論文7篇を収録。巻頭カラーを含む口絵も充実。

\*論文執筆——椎名宏雄・中村一紀・野沢佳美・高橋秀栄・岡本一平・櫻井 唯・道津綾乃（編集責任）

\*お近くの書店または小社まで、ご注文下さい

禪秘要法経卷上

姚秦三蔵法師鳩摩羅什等於

神奈川県立金沢文庫編

# 称名寺大蔵経

重要文化財 宋版一切経目録

臨川書店

株式会社 臨川書店

〒606-8204京都市左京区田中下柳町8番地 ☎075-721-7111 FAX075(781)6168  
E-mail kyoto@rinsen.com URL <http://www.rinsen.com>



